

履修モデル（リハビリテーション学部理学療法学科）

リハビリテーション学部の教育課程では科目選択の自由度はあまりなく、特に卒業に要する単位の7割を占める「専門科目」の多くは理学療法士の資格取得に必要な必修科目で構成されていて、履修の順番も指定されているので、理学療法学について系統的な学修ができるように履修モデルを設定しています。

〇リハビリテーション学部理学療法学科履修モデル（2023～）

科目区分	選択必修	1年次		2年次			3年次			4年次			単位数計	卒業要件			
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期						
N G U 教 養 ス タ ン ダ ー ド 科 目	キリスト教	必修	キリスト教概説1	2	キリスト教概説2	2							4	4単位			
	自己理解と自己開発	必修	基礎セミナー	2	発展セミナー	2							4	4単位			
		選択												6単位以上※			
	数学・データサイエンス・AI教育	必修	情報処理リテラシー	2									2	2単位			
		必修	基礎英語1 英会話1 日本語表現	1 1 2	基礎英語2 英会話2	1 1							6	6単位			
	歴史・文化の理解	必修												6単位以上※			
		選択												6単位以上※			
選択													6単位以上※				
学 科 専 門 科 目	必修	解剖学A 解剖学B 生理学A	2 2 2	解剖学A実習 解剖学B実習 生理学B 生化学	1 1 2 1	運動生理学 生理学実習	2 1	病理学概論 内科学 整形外科学	1 2 2	臨床神経学 精神医学 小児科学 リハビリテーション医学 画像診断学	2 1 1 1 1	臨床薬学 救命・救急医学	1 1	47	47単位		
		理学療法学概論	1	運動学 臨床実習実習指導 臨床実習実習	1 2 1	人間発達学 基礎理学療法学 運動学演習 医療統計学 専門セミナーⅠ	1 1 1 2 1	地域包括マネジメント論	1	理学療法評価学Ⅰ 理学療法評価学Ⅱ演習 バイオメカニクス	2 1 1	理学療法評価学Ⅱ演習	1				
	選択					国際医療事情	1	実践セミナー	1	予防医学	2	臨床検査学 公衆衛生学 チーム医療論 ヘルスプロモーション論	1 2 1 1	9	5単位以上		
	必修						物理療法学 日常生活活動学	2 2	臨床理学療法学A 臨床理学療法学B 臨床理学療法学C 漢方装具学 漢方装具学演習 物理療法学演習	2 2 2 1 1 1	理学療法治療学概論 ヘルスプロモーション論	1 1	卒業研究	2	46	46単位	
		選択					検査測定実習	2	地域理学療法学	2	リハビリテーション活動演習	1	臨床実習指導 臨床評価実習 臨床総合実習Ⅱ	1 4 7	1	1	2単位以上
	実践連携科目	必修							理学療法学研究法演習Ⅰ	1	理学療法学研究法演習Ⅱ	1			2	6	6単位
		選択											スポーツ理学療法学特論 臨床理学療法学特論 ペインリハビリテーション リサーチ・スキルズ クリニカルリズニクス	1 1 1 1 1	1	5	2単位以上
	単位数計			17	15	19	18	15	19	14	12	129	129	129	129単位以上		

※「NGU教養スタンダード科目」の選択科目から6単位以上

● 学びの領域

学びの領域

理学療法士国家試験を照準に、順序立てて学修ができるように授業を構成しています。学修のベースとなるのは、人間や社会を理解するための教養科目です。そこから理学療法の基礎を学ぶ専門基礎科目と、臨床実習などを行い理学療法を実践的に学ぶ専門実践科目を学修していきます。

人間理解・社会理解 [NGU教養スタンダード科目]

医療専門職のための実践連携 [実践連携科目]

理学療法の基礎

[専門基礎科目]

- 人の身体の仕組みや働きを学ぶ基礎医学
- 疾病・障害の成り立ちと医学的診断と治療
- 保健・医療・福祉とリハビリテーション理念
- 基礎理学療法学
- 理学療法のための評価学

理学療法の実践

[専門実践科目]

- 疾病・障害に対する理学療法
- 地域における理学療法
- 臨床実習
- 卒業研究